

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 湿原の風と光の家

グループの名称 グリーンlifeくしろ

直近採択グループ番号 04-0678-0003

(グループ代表者)

代表者名 三宅 直志 代表者印  
代表者所属先 株式会社ミヤケ  
代表者所在地 北海道釧路郡釧路町光和2丁目11番地  
代表者電話番号 0154-36-9326

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社ミヤケ  
事務局担当者名 三宅 直志 印  
事務局郵便番号 088-0623  
事務局所在地 北海道釧路郡釧路町光和2丁目11番地  
事務局電話番号 0154-36-9326  
事務局FAX 0154-36-9346  
事務局担当者E-mail kushiro\_green@yahoo.co.jp























1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 湿原の風と光の家	(地域型住宅供給対象地域) 道東
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) グリーンlifeくしろ	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0678-0003	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当グループの活動エリアは、夏は比較的涼しいとは言え、冬は時に-20℃を超え、夏と冬の寒暖差は40℃以上になるため、しっかりとした断熱性能が重要だと考える。したがって、提供する地域型住宅のタイプにかかわらず断熱性能等級4を必須とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	プラン提案時に、夏場における室内の通風、そして冬場の日射の取り込みを考慮した設計をエンドユーザーに提案する。 自然が齎す風と光を活かした住宅を提案・提供する事が、釧路エリアの気候・風土にあった“新たな”暮らしに繋がると考える。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	②の実現の為、「通風シミュレーション」や、「日の出日の入りマップ」等を活用し、釧路の自然が齎す風と光を活かした設計を心がける。	◎
④①～③の背景	北海道釧路は「釧路湿原」「阿寒」の2つの国立公園をはじめとした、雄大な自然に恵まれた町である。冬は寒い、夏は比較的涼しく、平均気温は20℃前後であり、25℃を超えることは少ない。そのため、夏は窓を開けるだけで冷涼な風を感じる事が出来る。しかし、それ故に釧路において、通風に配慮した設計の住宅が提供される事は少ない。また、一方で釧路の日照率は北海道でもトップクラスである。 以上を背景に、当グループ「グリーンlifeくしろ」は昨年から引き続き、雄大な釧路の自然が齎す風と光を存分に活かした、エコで快適な暮らしを実現する住宅「湿原の風と光の家」を提供していく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	“グリーンlife”を提供するグループとして環境に配慮し、住宅に使用するトイレについては節水型トイレを標準とする。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 軸組工法による住宅を提供する事業者、枠組壁工法による住宅を提供する事業者が混在している為、用材の寸法の規格化は難しい。	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 物件ごとの性能のバラつきを抑えるため、使用する高性能断熱材を発砲ポリウレタン製のものに統一している。	◎
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 前述ア-①及び前項①-2の取組がグループの標準仕様となっている。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材を始めとした、一部の資材において購入先を統一している。	◎
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 住宅建材を取り扱う流通店がグループ代表を務めており、共通ルールや標準仕様に係る建材等のスムーズな取引を実現している。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 生産の合理化、新しい制度や技術、その他、当グループのコンセプトでもある通風や日射の取り込み等、生産技術等に係る勉強会を実施している。その際にはグループ外の講師も招き、常に新たな知識・技術を身に付ける事を心がけている。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 上記の勉強会実施に当たり、グループ外の講師との折衝や、開催スケジュールの調整、開催日の連絡等を担う事とする。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 発砲ポリウレタンの断熱材を使用する。 湿気に強い発砲ポリウレタンの断熱材を使用し、安心を提供する事が信頼性向上に繋がると考える。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 全棟に気密測定を実施し、結果をエンドユーザーに専用の書式にて報告している。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 上記a-②-1の取組に加え、グループ共通のプランシートを作成している。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 断熱材において、長期の無結露保証を実施している。 上記①の取組みと合わせ、より信頼性の向上が期待できる取組みであると考えている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 湿原の風と光の家	(地域型住宅供給対象地域) 道東
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) グリーンlifeくしろ	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0678-0003	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a 提供する住宅のタイプ(長寿命型、高度省エネ型)に係らず、重要書類の30年の長期保管・管理を実施する。		
① 住宅履歴情報の蓄積		◎
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同上	◎
①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 株式会社フォーラム・ジェイを利用し、住宅履歴の蓄積・管理を行う。	◎
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同社の発行する住宅履歴情報証明書。	◎
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで共通の、長期間における定期点検時期及び点検内容を設定している。	◎
②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同上	◎
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検や補修の記録を住宅履歴に蓄積している。	◎
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅を長く快適に使用するための、メンテナンス方法等を記載した冊子等を作成し、引渡し時にエンドユーザーにお渡しする。	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現時点でグループとしての取組は行っていないが、事業者が個別で実施している。	○
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現時点でグループとしての取組は行っていないが、事業者が個別で実施している。	○
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現時点でグループとしての取組は行っていない。	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 前頁イ-a-③記載の勉強会において、維持管理手法に関する意見交換や検討も行っている。	◎
b ① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 他のグループ構成員によって、引き渡し後の定期点検やメンテナンス等を引き継ぐ、助け合いの仕組みを構築している。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 前述の勉強会において瑕疵や震災被害への対策についても取り扱っている。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 生産の合理化、新しい制度や技術、その他、当グループのコンセプトでもある通風や日射の取り込み等、生産技術等に係る勉強会を実施する。その際にはグループ外の講師も招き、常に新たな知識・技術を身に付けていく。また、グループ構成員による地域型住宅提供の際には内覧会を実施。相互の技術力向上を目指して活動している。	◎
②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの方針に基づいた共通ルールの順守が品質管理に繋がっている。	◎
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通ルール自主チェックシートを作成。事務局の求めに応じて提出する体制を取っている。	◎
③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 昨年の受注数を元に今年度の活動計画を定める。	○
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループメンバーの拡大。メンバーが増える事で、グループの活性化、メンバーの技術力の相互向上を目指す。	○
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工メンバー中心のグループではあるが、上記目標の実現に向けて、他のグループメンバーも、施工メンバーをサポートしていく。	○
b ①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 11 今年度の参加目標人数 5 各施工構成員が、設計技術者講習、施工技術者講習、両方の取得を目指す。	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数 請負技能者が流動的な事もあり、状況の把握や具体的な目標人数を掲げる事は難しい。	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今年度の省エネ講習会の日程等が公表された段階で、事務局を中心に開催日の情報を各メンバーに周知。同共有する事で、参加を促進しつつ受講漏れを防ぐ。	◎
c ① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会において、新たな技術や制度について、意見交換や検討を行う時間を設けている。	◎
② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 湿原の風と光の家	(地域型住宅供給対象地域) 道東	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) グリーンlifeくしろ	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0678-0003		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	<p>地域材利用に関する</p> <p>① 共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>◎、○記入欄</p> <p>◎</p> <p>○</p>	
<p>当グループでは基本的にグループ構成員によって供給されている木材を利用している。従って利用状況は②・③の通りとなるが、事務の合理化の観点から、共通ルールに設定する使用部位は主要構造材とし、またその使用割合についてはルールでは設定しない。</p> <p>□ 50%未満    □ 50%以上    ■ 80%以上</p> <p>主要構造材 土台: □ 使用していない    ■ 使用している 柱: □ 使用していない    ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している</p> <p>羽柄材    間柱、根太、垂木等: □ 使用していない    ■ 使用している</p> <p>造作材    枠材、廻縁等: □ 使用していない    ■ 使用している</p> <p>板材    壁板、床板等: □ 使用していない    ■ 使用している</p> <p>・原木が国有林・道有林等から供給される地域があるため、該当地域においては原木供給業者が含まれない。 ・原産国が海外の木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給・製材会社の特定及びグループへの参加は困難である。この為、下流の流れに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。 ・一部の地域においては、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。 ・一部の構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。</p> <p>道木連等の認定団体による事業者認定</p> <p>原木供給</p> <p>国有林・道有林</p> <p>海外にて合法的に伐採・製材された木材</p> <p>北海道における新たな合法木材証明制度/合法木材証明制度</p> <p>地域材</p> <p>製材・集成材・合板</p> <p>建材流通</p> <p>プレカット</p> <p>証明書 納品書等</p> <p>施工</p> <p>エンドユーザー</p>			
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p>■ ない    □ ある → 内容:</p> <p>□ ない    ■ ある → 内容: 定例会において、地域材価格等に関する情報交換を行っている。</p> <p>□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 上記の地域材利用状況から予測すると、1棟あたりの使用量は7~9㎡程度かと思われる。それに供給予定戸数を乗算した数値をグループの予測数値とする。</p>	<p>○</p> <p>◎</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p>■ 行っていない    □ 行っている → 内容:</p> <p>□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: エンドユーザーのニーズの観点から具体的な共通ルールは設定しないが、地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的な提案を行っていく。</p> <p>□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: エンドユーザーのニーズの観点から具体的な共通ルールは設定しないが、地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的な提案を行っていく。</p>	<p>○</p> <p>○</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p>	<p>□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: エンドユーザーのニーズの観点から具体的な共通ルールは設定しないが、地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的な提案を行っていく。</p> <p>□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 地域型住宅の提供を通し、風と光を活かした釧路の“新たな住まい方”を提案する。そしてそれが継承されていくような活動を目指す。</p> <p>□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 釧路市の「美しい国づくり政策大綱」を始めとした、供給地域の景観計画に沿うような住宅の提供を心がける。</p> <p>□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: エンドユーザーのニーズの観点から具体的な共通ルールは設定しないが、地域の産業・住文化への貢献の観点から、積極的な提案を行っていく。</p>	<p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p>
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			
東日本大震災の復興に資する取組			
平成28年熊本地震の復興に資する取組			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 湿原の風と光の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 道東
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> グリーンlifeくしろ	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0678-0003	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。